



## 諸元

全長・幅・深さ・・・78.00m×20.40m×7.00m  
 満載喫水・・・5.50m  
 船級・・・ABS SPS認証取得  
 船籍・・・東京  
 航行区域・・・遠洋区域(国際航海)  
 総トン数・・・4,015トン  
 主機型式・・・新潟 6LAHX型/2基  
 定格出力・・・2,206KW(3,000PS)/800RPM×2基  
 推進装置・・・新潟 ZP-41CP/2基  
 パウラスター・・・4翼CPP/2基 147.1 KN  
 速力・・・11.0Kt(巡航)  
 13.0Kt(最大)  
 巡航日数・・・40日  
 定員・・・77名

全旋回クレーン・・・動揺減衰装置付 50トン吊り  
 揚程:海面下 2,500m(20トン負荷時)  
 定点保持装置・・・DUAL DPS II KONGSBERG社製  
 R O V・・・はくようS-3000搭載  
 潜水深度:3,000m  
 ドリルリグ・・・GMTR150 掘削深度:海面下3,000m  
 作業甲板・・・650㎡ 甲板強度:10トン/㎡  
 甲板載貨重量・・・1,000トン  
 航海通信設備・・・ECDIS/2基 レーダー/2基  
 スピードログ/2基  
 深海測深器:EA600(10,000m級)  
 魚探探知機:KSE-210  
 潮流計ADCP JLN-650(500m級)  
 ジャイロコンパス/3基 DGPS/3基  
 全室・・・テレビ、冷蔵庫、ユニットシャワー  
 温水洗浄式トイレ装備  
 船主・・・オフショアエンジニアリング株式会社

## 特徴

多目的作業船として就航した本船は、主として海底資源調査を行う掘削調査船として運用する。海面下3,000mまで海底掘削調査をすることが可能で、日本の民間企業による運用は初となる。艀装された動揺減衰装置付クレーン(AHC)により、海上の波浪の影響を抑えながら船体中央に設けたムーンプール(5.4m×5.4m)から海中に材料・機器装置類などを海底2,500mまで投入・設置することができる。大型調査船に比べ船体がコンパクトで機動性・経済性に優れ、かつ充実した船室と77名の定員数を確保することで調査プロジェクトに必要な研究者や調査員を乗船させることができ、迅速で効率的かつ精緻な調査を行うことができ今後更なる活性化が期待される多様な海洋調査のニーズに、柔軟に対応が可能となるよう幅広い拡張性を有している。